

# JRAT 活動報告書

平成 30 年 11 月 29 日

都道府県	山梨県	報告者	磯野弘司	
団体名称／ 参加団体	山梨 JRAT／山梨県リハビリテーション病院・施設協議会、 一般社団法人山梨県理学療法士会、一般社団法人山梨県作業療法士会、 一般社団法人山梨県言語聴覚士会、一般社団法人山梨県介護支援専門員協会			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の 動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 30 年 11 月 27 日	実施場所	山梨県立中央病院 2 階 多目的ホール	
概要	<p>日 時:平成 30 年 11 月 27 日(火) 19 時～21 時(18 時 30 分～受付)</p> <p>会 場:山梨県立中央病院 2 階 多目的ホール</p> <p>講 師:山梨県防災局防災危機管理課 防災企画担当 主任 三森佑樹 氏</p> <p>対 象:賛助会員法人に所属する職員(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、事務職員等)</p> <p>参加施設:甲州リハビリテーション病院、山梨リハビリテーション病院、城東病院、春日居サイバーナイフ・リハビリ病院、湯村温泉病院、甲府共立病院、石和温泉病院、市立甲府病院(計 8 施設・50 名)</p> <p>内 容:避難所運営を机上で疑似体験出来るゲーム「避難所運営ゲーム(HUG)」を用いた研修</p>			
				
所感	<p>避難所運営ゲーム(HUG)については山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会で過去 2 回実施しており、リハ専門職のみでの実施経験はあった。今回山梨 JRAT として初めての実施となり、賛助会員施設ごとの多職種による運営は非常に有意義なものであった。参加者は各病院の院長や部長クラスの方も多く、医師、看護師、事務職、相談員など多岐に渡った。結果として山梨 JRAT 賛助会員法人のうち約半数にご参加いただくことが出来た(会場や機材の関係で 8 チーム限定での開催となったため)。今回の経験を通じて山梨 JRAT 賛助会員同士の連携も含め有事の際の備えを準備していきたいと考えている。</p>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回参加できなかった賛助会員施設に対して研修会実施の検討</li> <li>・RE-HUG 等の別の実践研修の検討</li> </ul>			
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の防災マニュアルにおける JRAT の位置づけについて調整を行う。</li> <li>・山梨 JRAT 活動マニュアルを県と共同して作成する。</li> </ul>			